

# 年長 さくら列車づくり

## 2021. 10月

①板状の段ボールを繋げて  
列車の形にしたら…

壁がふにゃふにゃで、  
四角くならない！



仲間集めした  
お水の段ボール同士を  
ぴったりくっつけよう！

③同じ段ボールを集めて  
パーツにしていく



②箱状にした段ボールを  
積み上げて形を作ると…

ガタガタしてる…？



④作ったパーツ同士を  
組み合わせて  
列車の形にしていく



さくら組では園まつりの共同製作で、列車を作ることになり、土台作りが始まりました。サマーアドベンチャーツアーでお化け屋敷迷路を作った経験から、自分たちで段ボールを切り開いて板状にしたり、ガムテープを使って貼り合わせたりして列車の壁を作っていました。一両目ができた時、「列車がフニャフニャ、真っ直ぐじゃない！」と気付いた子がいました。お化け屋敷迷路の時も一段目は箱状の段ボールを並べてコースを作ったことをクラスみんなで思い出し、段ボールを箱の形にしてから、積み木のように重ねて形を作っていくことに決めました。押さえる担当、ガムテープをちぎって貼る担当と自然と友達と力を合わせて作業を進めていく子供たち。その後は一車両の段ボール四個分の横パーツ、六個分の縦パーツというように車両のパーツを作っていました。できあがると、「ここは窓だから空けておいてね」「こっちは二両目に行く道だよ！」と子供たちで伝え合いながら段ボールを並べて少しずつ形になってきました。「段ボールの種類が違ってガタガタの部分があると和紙が貼りにくいよ」とさくら組に遊びに来た他の教師からのアドバイスを聞いた子供達は、「お水の段ボールこっちね！」「あ、ここだけ仲間外れだから交換しよう」と段ボールの大きさや形を調整していき、少しずつ整えていきました。

パーツを組み立てて列車の形になってきたことで、大きさや作りたいもののイメージが浮かびやすくなったと思います。組み立てながら思いついた自分の考えを発信し合い、車両ごとにどんな工夫を凝らしていくのでしょうか…！？